

再編小学校候補地の考え方について

区分	坂元小学校	山下小学校	山下第一小学校	山下第二小学校
1 敷地面積	16,100㎡	14,700㎡	13,600㎡	16,500㎡
2 校舎建築年	S55.3	S53.3	S58.3	H28.8
3 学校用地				
4 敷地拡張の可否	拡張に伴う用地買収では必要面積の確保に時間を要する。	隣接する中学校との敷地を共有することで拡張可能	周辺は殆どが民家等。拡張に伴う用地買収では必要面積の確保に時間を要する。	隣接する公共施設を活用することも考えられるが、行政手続きや制限が多く時間を要する。
5 環境	町の南部に位置	町の中央部、国道6号線の西に位置	町の北部、国道6号線の東側に位置	町の中央部、国道6号線の東に位置、JR常磐線山下駅に近い
6 通学	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道がなく坂元周辺の児童・生徒の徒歩、自転車通学に注意が必要であるが支障はない。 ・北側からのアクセスのみ。 ・スクールバスの運航に時間を要する。(山一小学区から) ・道路幅員及びスクールバス旋回を考慮するとスクールバスの乗り入れが困難。道路の拡張、旋回場所の確保が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・北側道路は道路幅員が狭く歩道がない。中学校生徒の送迎車両が多く、注意が必要。南側の道路には歩道が設置されているため徒歩、自転車通学に支障はない。 ・南側の主要道路からのアクセスに限られるため、保護者送迎の渋滞が発生する。 ・スクールバスの本数が増える事が想定されるため、保護者送迎との乗降場所の調整が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩通学については、6号線西側の交差点等に注意が必用 ・スクールバスの乗り入れが難しい ・スクールバスの運航に時間を要する。(坂小学区から) ・道路幅員及びスクールバス旋回場所の確保が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南、北側には歩道があり徒歩、自転車通学について、安全性が確保されている。 ・東西南北の道路が整備されており、スクールバスの運航が容易
7 災害リスク	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨による水害 ・津波による水害 ・浸水による周辺道路寸断 	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨による水害 	<ul style="list-style-type: none"> ・急傾斜地(土砂災害) 	<ul style="list-style-type: none"> ・津波による水害(ハザード指定有)
8 立地特性	<ul style="list-style-type: none"> ・南側は道路を挟み民地(神社)北側は民地であるが落差あり一段の土地を確保するには用地購入が必要 ・用地を確保した場合においても造成が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・西側に山元中学校が隣接 ・東側には国道6号線 ・南側が主要幹線道路 ・北側が民地となっているため、拡張が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民家 ・国道 ・急傾斜地 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所 ・児童館(児童クラブ) ・公園
9 建設時の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・用地確保 ・敷地造成 ・仮設小学校(坂小児童)の設置(場所・費用) ・文化財 	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地造成(中学校との敷地の高さ) ・仮設小学校(山小児童)の設置(場所 費用) 	<ul style="list-style-type: none"> ・用地確保 ・敷地造成 ・仮設小学校(山小児童)の設置(場所・費用) 	<ul style="list-style-type: none"> ・復興交付金等の整理(交付金返還) ・工事の際、保育所や公園等の廃止や代替地の調整が想定される。 ・都市計画の変更等、行政手続きに手間と時間を要する。 ・建物の高さ制限(20m)
10 候補地条件	<p>●面積：敷地必要面積 約30,000㎡ (29,334㎡) 【別紙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校形態：小中一貫教育学校 ・施設形態：小学校と中学校が施設併設型又は施設一体型 ・その他：小学校教員と中学校教員の職員室が一体又は隣室 			